

才能あるデザイナーやアーティストの発掘・支援・コラボレーションを目指した
アートとデザインのコンペティション

「Tokyo Midtown Award 2018」 11 回目を迎え、審査員も新たに開催決定！

東京ミッドタウン(港区赤坂 / 事業者代表 三井不動産株式会社)は、次世代を担うアーティストやデザイナーの発掘・支援・コラボレーションを目的とした「Tokyo Midtown Award 2018(東京ミッドタウンアワード)」を開催いたします。

「Tokyo Midtown Award」は、東京ミッドタウンが「“JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)”を創造・結集し、世界に発信し続ける街」をコンセプトに、才能あるデザイナーやアーティストとの出会い、支援、コラボレーションを目指してアートとデザインの2部門で開催するコンペティションです。

世の中の問題を解決するデザインと、世の中に問題を提起するアート。2018年から、「Tokyo Midtown Award」は、アイデアや作品を生み出す『人』にフォーカスしたアワードへ進化すべく、これまで以上に、応募者の未来を支援するアワードを目指し、授賞後の支援強化や受賞者とのコラボレーションの機会の創出に取り組んでまいります。

10年の歩み続ける Tokyo Midtown Award

東京ミッドタウンが1周年を迎えた2008年に設立された、「Tokyo Midtown Award」。アートコンペとデザインコンペの2部門からなるこのアワードは、東京ミッドタウンの開発コンセプトである「JAPAN VALUE」を基軸としたテーマに、アーティスト、キュレーター、デザイナーなど第一線で活躍する方々を審査員に迎えて年1回開催し、今年で11回目を迎えます。

この賞の目的は、明日を担うアーティストやデザイナーの発掘と支援です。アートコンペでは受賞者に制作補助金と展示スペースを提供し、またとない作品発表のチャンスを実現します。デザインコンペでは制約に縛られない自由な発想でのデザインを募り、授賞後は商品化やアイデアの実現化を一緒に探ります。

これまで10年間の開催で、延べ応募者数15,358組の中から、アートコンペでは51組・53名、デザインコンペでは82組・140名の受賞者が誕生しました。

過去受賞者にはこんなヒット作品も！



▲シールを活用したアートで多数のメディア露出
人気作家のきっかけになった「Beautiful Midnight」
大村雪乃(2012年アートコンペ入選)



▲スガハラ硝子と商品化した
「富士山グラス」は約25万個を販売
鈴木啓太(2008年水野学賞)



▲G7伊勢志摩サミット2016公式お土産に
も選ばれた「歌舞伎フェイスバック」
小島梢(2008年学生の部準グランプリ)

■掲載時の一般の方のお問い合わせ先■ 東京ミッドタウン・コールセンター TEL : 03-3475-3100

■東京ミッドタウン・オフィシャルサイト■ www.tokyo-midtown.com

■Tokyo Midtown Award ウェブ■ www.tokyo-midtown.com/jp/award/

11年目を迎える「Tokyo Midtown Award」 審査員が新メンバーへ

◆【アートコンペ】3名の審査員が新たなメンバーに

11年目を迎えるにあたり、新たな審査員構成でアートコンペを行います。2016年度から審査員を務める川上典李子氏(ジャーナリスト / 21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター)、鈴木康広氏(アーティスト / 武蔵野美術大学准教授)に加え、新たに大巻伸嗣氏、金島隆弘氏、スプツニ子!氏の3名が審査員となり、計5名で審査を行います。



大巻伸嗣
アーティスト



金島隆弘
アートプロデューサー
芸術学研究員



スプツニ子!
アーティスト
東京大学 RCA
デザインラボ
特任准教授

©MAMI ARAI

【アートコンペ】審査の流れ



1次審査
2次審査に進む12点を1次審査で選出(書類審査)。



2次審査
模型を使っでのプレゼンテーション審査で、最終審査に進む6点を選出し、制作補助金を支給(各100万円)。



最終審査
東京ミッドタウンプラザ B1での公開制作後、各賞を決定。



展示
東京ミッドタウンプラザ B1にて約1か月間展示。

◆【デザインコンペ】プレゼンテーション審査を新設 / 審査員も新たな顔ぶれに

アイデアや作品を生み出す『人』にフォーカスしたアワードへ進化すべく、プレゼンテーション審査を新設。プレゼンテーションシートによる書類審査後、2次審査に通過した応募者は、模型やプレゼン資料を駆使し、審査員へプレゼンテーションを行っていただきます。

また、アートコンペと同様に、デザインコンペも新たな審査員構成となります。審査員は、東京ミッドタウン オフィシャルサイトで後日発表します。

【デザインコンペ】審査の流れ



募集
提案をイメージ図やコンセプト文で表現し、A3のプレゼンテーションシートにまとめた作品を募集。



1次審査
プレゼンテーションシートによる書類審査。最終審査に進む10点を選出。



2次(最終)審査
プレゼンテーション審査。審議後、意匠権調査を経て各賞決定。



展示
東京ミッドタウンのパブリックスペースにて展示。発表・展示開始後、受賞作品を実現するサポートを提供。

※掲載画像はイメージです

Tokyo Midtown Award 2018 開催概要

部門	アートコンペ	デザインコンペ
応募期間	2018年5月24日(木)～6月14日(木)必着	2018年7月2日(月)～7月30日(月)必着
テーマ	応募者が自由に設定	「HUMAN」
	東京ミッドタウンという場所を活かしたサイトスペシフィックな作品を募集します。テーマを設定し、都市のまん中を多くの人々が行き交う場所で発信したいメッセージを、アートで自由に表現してください。 (展示サイズ①: 約H250xW200xD200cm) (展示サイズ②: 約H318xW400xD70cm)	技術の発展に伴い日々変わっていく世の中で、いま、「人間らしさ」や「人間性」についての議論が様々な場所で起きています。世の中を良い方向に変えるアイデア、日々の暮らしを豊かにするアイデア、少しでも先の未来を予感させるアイデアをお待ちしています。
提出物	作品案: ジャンルは問いません。但し未発表作品案に限ります	
応募資格	1. 個人またはグループ (1グループ1作品案までとします) 2. 国籍は問いません 但し、審査・設営・撤去にあたり、事務局の指定する日時に東京ミッドタウンに来館できること 3. 応募書類提出時点で39歳以下の方 ※グループの場合、メンバー全員が条件を満たすこと	1. 個人またはグループ (1グループ何作品案でも応募できます) 2. 国籍は問いません 但し、審査にあたり、事務局の指定する日時に東京ミッドタウンに来館できること、展示準備期間(2018年8月下旬～10月中旬)に日本に在住または滞在していること 3. 応募書類提出時点で39歳以下の方 ※グループの場合、メンバー全員が条件を満たすこと
応募方法	応募用紙に記入のうえ、事務局へ送付 ※応募用紙・募集内容詳細は、「Tokyo Midtown Award」特集サイト(www.tokyo-midtown.com/jp/award/)からダウンロード可能です ※2018年5月14日(月)ダウンロード開始	
審査方法	・1次審査(7月13日(金)) 提出書類による審査後12点を選出 通過者のみ書面にて通知 ・2次審査(8月8日(水)) 模型およびプレゼンテーション審査後、入選作品(6点)決定 ・最終審査(10月9日(火)) 入選者完成作品審査: 各賞を選定 ※2次・最終審査は一部公開予定	・1次審査(8月) 提出書類による書類審査で10点を選出 通過者のみ書面・Emailにて通知 ・2次(最終)審査(9月下旬) (2018年から新設) 模型およびプレゼンテーション審査後、各賞を選定
	授賞式は2018年10月19日(金)に開催予定	
賞	グランプリ(1点): 100万円 準グランプリ(1点): 50万円 優秀賞(4点): 10万円 ☆グランプリ受賞者をUniversity of Hawai'iのアートプログラムへ招聘します ※入賞者ひとり(または1組)につき制作補助金100万円支給。また、副賞としてトロフィーを贈呈 ※賞金総額: 790万円(制作補助金含む) ※各賞については「該当なし」となる場合があります ※各受賞者には、受賞作品の展示の他に、東京ミッドタウン館内に作品を展示する「ストリートミュージアム」(2019年初春予定)への参加機会など、様々な受賞後サポートが受けられます	グランプリ(1点): 100万円 優秀賞(3点): 各30万円 ファイナリスト(6点): 各5万円 ☆グランプリ受賞者を国際家具見本市「ミラノサローネ」開催中にイタリア・ミラノへご招待します(グループの場合は2名まで) ※賞金総額: 220万円。入賞者ひとり(または1組)につき、副賞としてトロフィーを贈呈 ※入賞作品は発表後、1年間東京ミッドタウン館内に展示します ※各賞については「該当なし」となる場合があります ※入賞作品には、実現に向けたサポートを行います
	授賞式は2018年10月19日(金)に開催予定	
審査員	<ul style="list-style-type: none"> ■大巻伸嗣(アーティスト) ■金島隆弘(アートプロデューサー / 芸術学研究員) ■川上典李子(ジャーナリスト / 21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター) ■鈴木康広(アーティスト / 武蔵野美術大学准教授) ■スブツニ子!(アーティスト / 東京大学RCAデザインラボ特任准教授) 	審査員は東京ミッドタウンオフィシャルサイトで後日発表
主催	東京ミッドタウン	
協力	一般社団法人ノマドプロダクション	東京ミッドタウン・デザインハブ、株式会社JDN
後援	University of Hawai'i at Mānoa / Department of Art and Art History	—

「Tokyo Midtown Award 2015」の活動は「メセナアワード 2016」で優秀賞「東京なかつまち技芸賞」を受賞しています。

「Tokyo Midtown Award」を通して、受賞作品の商品化や受賞者の海外視察など幅広い支援により、日本の若い才能を見出していることに加え、2015年度の活動ではイタリアの国際家具見本市「ミラノサローネ」への作品出展も行き、その魅力を国内外で多方面に発信したことが評価されました。メセナアワードとは、公益社団法人企業メセナ協議会が主催し、企業による芸術・文化を通じた社会創造の観点で特に優れた活動を顕彰するものです。



受賞者支援をより強化し、さらなる活躍をサポートするアワードへ

「Tokyo Midtown Award」は、2018 年で 11 回目の開催となります。授賞後のサポートのより一層の充実をはかり、受賞者とのコラボレーションの機会の創出に取り組んでまいります。

アートコンペ

◆ 東京ミッドタウン日比谷に受賞者の作品を設置

2016 年アートコンペグランプリ受賞者、後藤宙(ごとうかなた)氏に、オリジナルのアートワーク制作を委託(発注者:三井不動産株式会社)。2018 年 3 月 29 日にオープンした東京ミッドタウン日比谷内にオリジナルの作品が設置されました。



▲踊る幾何学 / 後藤宙 photo by Nacása & Partners Inc.

◆ グランプリ受賞者をハワイ大学のプログラムに招聘

アートコンペのグランプリ受賞者を University of Hawai'i の Department of Art and Art History が実施するアートプログラムに招聘いたします。数多くのアーティストや学者が招かれる歴史ある本プログラムに、これまでに 5 名のグランプリ受賞者が参加しました。実際にハワイに滞在し、ハワイの芸術文化に触れ、ハワイ大学の多彩なアートプログラムに参加しながら作品を制作する機会が与えられます。



▲ハワイ大学アートプログラムに参加した 2017 年度グランプリの金子未弥氏

アーティストとしての存在を確立できたグランプリ

「Tokyo Midtown Award 2016」アートコンペでグランプリを勝ちとった後藤宙氏。今春グランドオープンした東京ミッドタウン日比谷では、三井不動産株式会社より委託され、館内に展示するアートワークを制作しました。「Tokyo Midtown Award」入賞により、活躍の場が広がっています。

後藤宙氏コメント

「Tokyo Midtown Award」は、すべてが魅力的だと思います。発表できる機会、審査員、賞金、グランプリ副賞のハワイ。制作以外にかかる労力、例えば出品料や運搬の保険などにかかるストレスがないのが素晴らしいと思います。制作の労力が必要なのは普通ですが、それ以外の負荷が多い場合もあります。「Tokyo Midtown Award」はアーティストが考える「こうあってほしい」形のコンペだと思います。

副賞のハワイ大学でのアートプログラム参加は、「リゾートの印象が強いから遊びに行っただけだと思われそう」なんて思っていたのですが、海外が初めての僕には、入門編として最適でした。キャリアアップを考えれば英語は重要なので、アートプログラム参加をきっかけに始めました。今回のプログラムはゲストとして質問される立場なので、僕がアクションを起こさなくても何かが起きてくれる。話しやすい環境で徐々に鍛えてもらった感じがあります。



▲2016 年度グランプリ 後藤宙氏

Tokyo Midtown Award 【受賞者の声】より抜粋 <http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/voice/art06.html>

◆ 「The Best of the Best TMA Art Awards」開催

19 点のパブリックアートが点在する東京ミッドタウン。「Tokyo Midtown Award」の開催 10 回を記念し、2008～2017 年アートコンペ全受賞者 51 組(53 名)を対象に、20 番目のパブリックアートを設置するための特別コンペ「The Best of the Best TMA Art Awards」を実施いたします。

【応募期間】 2018 年 4 月 1 日(日)～5 月 1 日(火)

【参加資格】 Tokyo Midtown Award アートコンペ 2008～2017 の全受賞者

【対象】 平面または立体

【結果発表】 2018 年 10 月予定 ※審査の結果該当なしとなる場合がございます。

【賞金】 300 万円 【支給制作費】 最大 3,000 万円 【アワード設置日】 2019 年 3 月下旬(予定)

【審査員】 児島 やよい(キュレーター)、清水 敏男(東京ミッドタウン・アートワークディレクター / 学習院女子大学教授)、土屋公雄(彫刻家 / 愛知県立芸術大学教授 / 武蔵野美術大学客員教授)、中山ダイスケ(アーティスト / アートディレクター / 東北芸術工科大学学長)、八谷和彦(メディアアーティスト / 東京芸術大学美術学部准教授)

デザインコンペ

◆ グランプリ受賞者を「ミラノサローネ」開催中、イタリア・ミラノへ招待

デザインコンペのグランプリ受賞者を、毎年4月に開催される国際家具見本市「Salone del Mobile Milano（ミラノサローネ）」開催中に、イタリア・ミラノへ招待いたします。世界最大規模の家具見本市として開催される「ミラノサローネ」では、大手の企業から若手デザイナーの作品まで一挙に見られ、多くの刺激を得ることができる機会となります。



▲ 昨年の「ミラノサローネ」視察の様子

◆ 受賞作品の実現をサポート

デザインコンペでは、商品(モノ)だけでなくイベントなどの「コト」の提案も増えていることを鑑みて、受賞作品の「実現化」についてサポートしていきます。従来の商品化サポートだけでなく、世の中を良くするアイデアを実現するなど、幅広いサポートを行います。

アート デザインコンペ共通

◆ 東京ミッドタウンで開催されるイベントに参加できる機会を提供

全受賞者を対象として、東京ミッドタウンで実施されるイベントや制作物に、作家として制作参加ができるよう、積極的に機会創出を行っていきます。

<過去の実施例>

受賞者が街のイベントに参加

東京ミッドタウンで開催されるさまざまなイベントで、アワード受賞者がデザインやアートワークを提供できる機会を創出しています。

ミッドパーク ギャラリー こいのぼりコレクション <実施中～2018年5月26日(日)>



こいのぼりのデザインを過去受賞者からも募集し、ゴールデンウィークのイベントで屋外をカラフルに彩りました。(2016、2017)

東京ミッドタウンのお正月



“ワン”ダフル
アーキテクチャー

過去受賞者がお正月の干支のモニュメントを制作。(2018)

東京ミッドタウンでの新作発表やワークショップの開催

東京ミッドタウンで開催されるアートイベントで新作を発表できる機会を提供するほか、夏休みのイベントや「六本木アートナイト」でライブペインティングやワークショップなどを行います。

ストリートミュージアム

<実施中～2018年5月26日(日)、2019年春も開催予定>



毎年春に行う「ストリートミュージアム」では、前年のアートコンペ受賞者が新作を展示します。

六本木アートナイト 2018 <2018年5月25日、26日開催> MIDTOWN LOVES SUMMER <2018年8月開催予定>



夏休み期間のキッズ向けイベントや、「六本木アートナイト」のイベントとして、過去受賞者がアートやデザインのワークショップを行います。「六本木アートナイト」ではライブペインティングなどのパフォーマンスも実施しました。